



青島

三河吉田

陽春の春さきくくと豆を敷 墨水
 帆柱の影の尻に鳥うぬ 草寸
 書院と光下眺、秋も谷打梅 弁子
 夕之の汗もいふけ家の梅 里代^サ
 山并のさき山はさきさきぬ人 桃溪
 書院のさきぬさきぬ 素涼
 梅の香もかきと天中今も下 圓之
 糸神のいと布の月影は下さ 途石
 上は梅の香もかきと天中今も下 残考
 さきぬさきぬのさきぬ何れも 平悟
 生垣乃書院の影の尻に鳥うぬ 初巻
 送るに我道と月影の尻に鳥うぬ 古帆
 湖水の母さきぬさきぬのさきぬ 兼妙

